

2026 教室・講座・イベントの成果報告

主 催 者 名	環境・エネルギー学校派遣事業 ～かながわ環境教室～				
題 名・副 題	人工の雲をつくろう ～生きものと水、地球の水循環を知ろう～				
月 日・時 間	2026 年9月30日(水)				
開 催 場 所	鎌倉市立 関谷小学校 5 年生教室				
部会・講師名	水・大気部会 大岩俊雄	参加数	3クラス73名	講師数	4名
写 真・画 像					
	教室での授業風景(空気砲実験)		ペットボトルの中に「人工の雲」ができた		
					
	浮沈子工作と体験				
成 果 解 説	この教室では、「水」と生きものとの関係について学び、空に浮かぶ「雲」などを作る実験を体験しました。 始めに、太陽系の中で地球だけに「水」が液体で存在して生きものが発生したこと、地球上の「水」を人類が利用できる水は少ないこと、また、海水が淡水化する「雲」の役割などを学びました。 実験では、「雲」が発生する原理について説明し、空気砲の実験やクイズを行った後、ペットボトルの中に温水と線香の煙を入れて、ペットボトルを手で押したり、力を緩めたりするとペットボトルの中に「雲」ができることを体験しました。 次に、雲づくりに使用したペットボトルを活用して、タレ瓶とナットを使った浮沈子を工作しました。水を満ちたボトルを手で押すと、浮いたタレ瓶が沈むことを体験しました。この原理を発見したパスカルの名前から気圧の単位であるヘクトパスカル(hPa)が生まれたことを解説した。				